

技能評価システム移転促進事業（SESPP）

事業実施報告書【ベトナム】

- ◆2019年1月14日（月）～17日（木）
- ◆ベトナム・ハノイ市 ハノイ電気機械短大（HCEM）
- ◆シーケンス制御2級 技能評価トライアル・評価者認定

2019年1月

1. 事業の全体概要

- (実施期間) 2019年1月14日(月)～17日(木)
(実施場所) ベトナム社会主義共和国・ハノイ市
ハノイ電気機械短大(HCEM)
(職種) シーケンス制御2級 技能評価トライアル・評価者認定
(講師) 内山 聡氏 (株式会社デンソー)
(参加者数) 受検者10名、評価者6名

(実施日程)

日時	活動名(指導内容)
1月14日(月) 08:30～16:30	【評価者認定】開講式 評価者認定、履歴書の書き方、評価者チェックシート説明 参加者による自己評価 ***技能評価トライアル準備*** 工具、測定器等の準備、試験材料のチェック、役割分担、役割と作業の確認、実技試験のタイムテーブル作成、翻訳の調整・修正 補講
1月15日(火) 08:30～17:00	【技能評価トライアル】【評価者認定】 ***技能評価トライアル準備*** ■学科試験 ペーパーテスト(60分)(10名) 学科試験(100分)(10名) 実技試験の機材確認準備 (評価者:翌日のトライアル準備)
1月16日(水) 07:45～17:00	【技能評価トライアル】【評価者認定】 作業試験 採点
1月17日(木) 08:30～16:30	【評価者認定】 採点作業 試験結果とりまとめ 評価者チェックシートに基づくヒアリング

2. 講評

◆ 総評

- ・技能評価者 6 名の評価者認定を実施。技能検定の運営面は合格点だが、技術面に課題があるため、今回は全員認定を見送った。
- ・運営面は、会場の準備、試験機器、工具等、卒なく準備できた。試験問題などの検定上の機密書類の取り扱いも厳格さを増し、きちんと取り扱いができた。試験時間の時間管理に若干のミスがあったが、トライアルを繰り返す中で習得させていく。
- ・技術面は、PLC のプログラミング能力がやや不足している。この能力が低いと検定中に発生する様々な状況に対応することができず、また課題の採点に於いても、公平性・公正性を損なう恐れがある。よって評価者としてのレベルを満たしていないと判断した。
- ・トライアルは 10 名受験して合格者は出なかった。実技試験、学科試験共に正答率は上がっているが、合格レベルに達していない。試験内容が伝わっていないことが原因にあり、事前講習等を企画して学習、訓練の機会を設けていただきたい。

3. 受講者へのアンケート結果

◆ 受検者 10 名（回答者 10 名）

満足度	：大変満足=4名 満足=5名 どちらともいえない=1名	満足度	90%
役立ち度	：大変役立つ=7名 役立つ=2名 どちらともいえない=1名	役立ち度	90%
継続性	：是非継続すべき=6名 継続すべき=4名	継続希望度	100%

【意見・感想】

- ・大変有意義でした。出題範囲が広いので、もっと勉強してくれば良かったと思います。
- ・HCEM の先生方、運営スタッフの方々、ありがとうございました。
- ・とても面白い試験でした。
- ・大変有意義で、とてもよい検定試験だと思いました。
- ・検定制度のことを普及拡大させる必要があります。

◆ 評価者 6 名（回答者 5 名）

満足度	：大変満足=5名 満足=0名	満足度	100%
役立ち度	：大変役立つ=4名 役立つ=1名	役立ち度	100%
能力向上度	：大変向上した=4名 向上した=1名	向上度	100%
継続性	：是非継続すべき=4名 継続すべき=1名	継続希望度	100%

【意見・感想】

- ・公平で客観的な技能評価方法と知識を、積極的に伝えてくださる日本から来た専門家の先生方々に感謝を申し上げます。
- ・トライアルに参加させていただき、光栄に思っています。これからのトライアルにも参加したいと期待しています。
- ・ホーチミン市でもシーケンス制御技能検定プログラムを行っていただきたいです。
- ・可能な限り、ぜひシーケンス制御技術について更なるご指導を内山先生からいただきたいです。

以上